

事業所名 グループホーム あかり

**令和7年度 第1回 運営推進会議開催報告書**

開催日時 令和7年5月16日（金）

参 加 者	議 題
利用者 8名	(1) 入居者状況
利用者家族 2名	(2) 活動状況（3月、4月）
市職員 1名	(3) 今後の予定（5月、6月）
基幹型地域包括支援センター 1名	(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
はたやま地域包括支援センター職員 1名	(5) 身体拘束適正化委員会、 高齢者虐待防止委員会
みゆきファーマシー薬剤師 1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
事業所 5名	(7) その他

**会 議 錄**

事業所の特色

あかり理念 「心で通じる共想いケア」

私達は感謝の気持ちと相手を思いやる心で、共想いケアを実践します

認知症の症状をもった入居者様がそれぞれの役割を発揮し共同生活を送ることによって、安定した生活を送れるように支援することを目的としてます。

一人ひとりの生活リズムに合わせてその人らしさ、また持っている潜在能力を発揮出来るように努め、共に歩むパートナーとして笑顔あふれる寄り添いのケアを目指しています。

**(1) 入居者状況**

4月30日現在 9名（男性：2名、女性：7名）

要介護1：3名 要介護2：2名 要介護3：0名

要介護4：3名 要介護5：1名

平均要介護度 2.7 平均年齢 86.8歳

**(2) 活動状況（3月、4月）**

- ・三浦内科クリニック往診 1回／月 3月7日(金)  
4月4日(金)
- ・終訪問看護ステーション 1回／週(4回訪問／月) (内1回…訪問リハビリ)  
3月5日(水)、12日(水)、26日(水)  
(訪問リハビリ) 3月19日(水)  
4月9日(水)、23日(水)、30日(水)  
(訪問リハビリ) 4月16日(水)
- ・青木歯科往診 3回／月(内1回…歯科衛生士)  
3月6日(木)、20日(木)、26日(水)(歯科衛生士)  
4月3日(木)、17日(木)、23日(水)(歯科衛生士)
- ・みゆきファーマシー 1回／週(居宅療養管理指導…薬のセット管理)
- ・ハート治療院 週1～2回(希望者にマッサージ治療)

・訪問理美容	4月28日(月)
・運営推進会議	3月21日(金)

## 行事

- 3月1日(土) 外部評価
- 3月3日(月) ひな祭り会、お誕生日会
- 3月22日(土) お誕生日会
- 3月24日(月) 聖霊中、高等学校 和太鼓部演奏会鑑賞。瀬戸市文化センター。  
(当日、市オレンジサポートーさんに協力をして頂き、  
文化センター内の誘導と観劇の同伴。)
- 4月4日(金) お花見。山口八幡社。

### (3) 今後の予定（5月、6月）

- ・5月 親睦会 兼 昼食会
- ・6月 お誕生日会

### (4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

- ・苦情 0件
- ・事故 0件
- ・ヒヤリハット 1件

4月中旬：ホールで姿が見えず探していたら、自室前に置いてあった物干し竿に両手でしがみついていた。  
トイレに行きたかったが場所が分からなかったとのこと。

### (5) 防災、避難訓練

令和7年4月23日(水) 実施。利用者様、職員参加。

消火器点検。

火災発生を想定した避難訓練をデイサービスと合同で実施。

ホールから玄関先まで順番に利用者様を誘導し、避難経路と順序の確認。

ダミーの消火器を使用し、利用者様、職員が放水訓練の実施。

- ・昨年度、発電機を導入し、災害時に使用できるよう対応。
- ・敷地内に小さな倉庫を作り、非常用災害備蓄用品を置く予定。

## 【出題】

社会生活における「自己決定」とは？どういう事を感じているか？

- ・はたやま地域包括支援センターより  
ケアをしていく中で表情、様子を見ることが表現だと思う。

ご家族様の気持ちだけではなく、本人さんの気持ちを知ることも大事だと思う。

・みゆきファーマシー 薬剤師より

薬を飲むということに関して、本人さんの意思が尊重されるもの。

自己の判断ができない人もいる為、本人さんの意思を尊重し、ご家族様の意思も尊重した対応をしている。

状況に応じて、薬の飲み方を工夫する、薬の種類を変えてみることで支援していることが意思決定になっているのかと思う。

・基幹型地域包括支援センターより

毎日の生活の中で例えば顔を洗う、服を着る、等の全ての行動において、日々の生活が意思決定の積み重ねの繰り返しだと思う。

意思決定・支援は、その人をじっくりよく知ることだと思う。

認知症症状をも持った人が、自分の言葉をなかなか言葉にできない人もいる。

言葉にうまくできなくても、その人の表現が必ずあると思う。

おひとり、おひとりと向き合ってその人がどんなことを思う人なのか？

日々の生活の中で知っていくことが意思決定、支援に繋がっていくことだと思う。

忙しい中でひとりの人と向き合う事が難しいこともあるが、少しでも気持ちを持って接するだけでも行動も変わるとと思う。

認知症があつたら色々な事が難しいのでは？と、何でも同じように一括りにするのではなく、その人の得意なもの、苦手なもの、好みを生活の中でしっかりと目が向かれるケアができるとよいかと思った。

・市職員より

その人らしい日常的な生活が送れているということがその人にとって日常的な意思決定ができているひとつの判断になっていると思う。意思決定を妨げるものとして高齢者虐待、ハラスメント、身体拘束がある。高齢者の人たちが自分らしい生き方をしていくためには、環境整備をすることが大事。

グループホームは家庭的な環境の中で生活の場を持ち、環境を提供することが高齢者の方々の意思決定に繋がっている。日常的な生活を送るという意味で支援していくことが意思決定だと思った。

・宝ヶ丘町組長より

ひとりひとりの個性の中、よく日頃から見て判断することが基本かと思った。

・ご家族様より

自分なりの意思を決定する時にその時の気持ちを大切にしたい。

あとで忘れてしまってもその時の気持ちを大事にしたいと思った。

・ご家族様より

例えで言うと、沢山の物を選ぶ時に選択する時に、本当に個々に異なるので、意思決定の難しさに痛感した。

#### ・管理者より

決めつけてしまうことはいけない。本人がどうなのか？本人に聞いて確認する。  
大きな声で接するのではなく、耳元で声掛けをする。  
大きな声で言われて気持ちが嫌になる方もいる。表情、意思を尊重して接する。  
本人がどうしたいのか？キャッチする力が必要。

#### (6) ご意見・要望・提案・助言

##### ・はたやま包括支援センターより

行事(文化センター外出)に関して、オレンジサポーターさんに協力して頂き外出で  
きてよい活動かと思った。  
オレンジサポーターの事を知ることができてよい情報を得ることができた。

##### ・基幹型地域包括支援センターより

文化センターイベント時、オレンジサポーターさんより「すごく楽しかった」と  
意見を頂いた。今後オレンジサポーターさんの協力を得るとき、行事に向けて早めの  
段階で伝えてほしい。

事前に分かっていれば、日程調整してあかりさんへ事前にお邪魔して、  
オレンジサポーターさんと交流してからイベント当日を迎えるといつも思つた。  
オレンジサポーターさんと仲良くなつた上で外出できれば、もっとお互いに楽しい  
かと思つた。

##### ・宝ヶ丘町組長より

はじめて参加した。こんなことをやつているのかと思つた。

##### ・みゆきファーマシー 薬剤師より

防災訓練について。火災発生時は薬が届くことができるが、震災(被災)は地域全  
体の被災になる。

震災時は薬の供給、医療全体が滞ることがある。

薬がなく、二次被害になることを想定し、おくすり手帳を持ちだすことがよいかと  
思つた。マイナンバーカードでは1ヶ月前の情報しかみることができない為、おくす  
り手帳が大事になる。

##### ・リーダーより

オレンジサポーターについて詳しく話を聞くことができてよかったです。

事前に予定が分かっていれば、今後はイベント時にお願いして、利用者様と関わり  
を持ってから行事に参加できればよいかと思つた。

デイサービスと協力をしてエコバッグ作成を今後は本格的に進めていきたいと思  
う。

計画書に基づいたカンファレンスを隨時行つてゐる。

話し合いをして、よりよいケアを目指していきたい。

意思決定に関しては利用者様をしっかり見て関わりを持ちたいと思つた。

※次回開催日時

令和7年7月18日(金) 14時~